

琴浦町総合教育会議録

日時	令和3年5月27日（木）午前10時30分～正午
場所	琴浦町生涯学習センター 第1会議室
出席委員	田中宣彦委員、高力和美委員、森田澄恵委員、新田朗尚委員、田中清治教育長
欠席委員	なし
その他出席者	小松町長、山口副町長、桑本教育総務課長兼学校給食センター長、宮本社会教育課長、小椋人権・同和教育課長、岸本指導主事、河原指導主事、入江教育総務課
傍聴人	係長 なし
議事日程	協議事項（1）今年度ICT活用教育について

教育総務課長 開会

町長 教育委員の皆さんには日頃より教育委員会でお世話になっています。琴浦町では県内でもいち早く小中学校にタブレットを配布しました。本日の会では教育のデジタル化や学校での働き方改革などについて意見交換していきたいと思えます。

教育長 今年度、学校教育の中ではICTの推進、働き方改革という2つのテーマを重点的に取り組んでいきます。

指導主事 今後のICT活用教育について説明します。令和3年度にどのようなことをしていくかを説明します。琴浦町ではICT活用に3つの基本方針があり、特に②子どもの学習意欲を喚起したり、学習内容を深めたりする部分に力を入れています。さらには不登校児に対するソフトで、オリヒメは入院や在宅の子どもが利用しています。どちらも県と連携しながら活用しています。教員の指導力・活用力の向上では、ICT支援員を活用したり、内田洋行や県と連携しながら研修の実施を予定しています。内田洋行と連携した情報教育主任研修は夏休み中に実施予定です。このほかにも県の出前研修等の利用も検討しており、各校が派遣を依頼しています。

また、デジタル教科書実証実験を実施予定で、2学期の公開を考えています。今後は指導活用方法の情報の共有を進めていきます。

基盤の構築では通信環境や家庭での通信状況の調査を検討しています。

また、子どもの情報活用能力状況の把握のためにアンケートを実施しました。

子どもたちが経験が少なく、指標に到達していない項目もありました。今後は項目を意識して指導することも、教科の内容だけでなく、情報活用能力を伸ばすことも考えながらの指導が必要だと思います。アンケートは2月にも実施予定です。

町長 アンケート内容は教育委員にもはじめての話ですか。

指導主事 具体的な話は初めてです。

教育委員 アンケートの情報活用能力の設問で、低学年で高いのは求められていることのレベルが低いということですか。

指導主事 学年によって求める内容が異なるため、低学年で達成度が高くなっていると思います。

教育長 教育現場でICTを推進し、先進的な取組として、これから有効利用するためには教員のスキルアップが必要だと思います。引き続き教員への支援が必要です。

町長 情報社会に参画する意識を育てることと、これからは人としてそれが大切になってきます。この方向で進めてもらえればと思います。

教育委員 すららとオリヒメの活用状況を教えてください。

指導主事 1名ずつ利用者がいます。

教育委員 児童生徒だけでなく、家族へのアンケートも必要ではないでしょうか。

教育長 赤中校区のPTAで使い方の研修をされたそうです。そうすることで保護者も適正な使い方を理解してもらい、モラルを育てる仕組みづくりにつながるのではないのでしょうか。

教育委員 ICTの推進が負担になっている教員もいるのではないですか。

教育長 I C T支援員の活用や状況共有など現場への支援が必要だと考えています。

教育委員 不登校の支援に I C Tが活用できると思います。家にいながら授業が受けられるのは学校に行けない子について対応ができるのがよいと思います。その場合は出席日数として認められますか。

指導主事 県は、すらら活用の場合は出席日数として認めるというガイドラインを示しています。また、中部教育局の協力により、すららはチャットなどが利用できるようになっています。

教育委員 家庭への対応について今年はどういったことを想定していますか。

教育長 教育委員会主催では予定しておらず、各校で検討してもらっています。

教育委員 子どもの家での学習環境の指導が必要ではないでしょうか。

教育長 参観日にネットとの付き合い方について取り入れている学校は多いです。ネットについての保護者への講演会も行っています。

教育委員 不適切な使い方と適正な使い方をしている子では差が出るのではないのでしょうか。

教育長 学校でルールが示されていますが、家庭で守らせるのは難しいです。楽しいことをセーブする気持ちを家族ぐるみで持つのは難しいです。学習の積み重ねだと考えています。

教育委員 ボランティアでオンライン学習指導をしてもらえるような仕組みがあれば嬉しいです。経費や人の募集など町の支援もあればいいと思います。帰宅後の学習サポートができるようになると思います。

町長 I C T推進のきっかけづくりとして検討が必要です。

教育委員 児童生徒はタブレットは家に持って帰っていますか？

教育長 持ち帰りは担任に任せています。コロナの影響で在宅学習の機会が多くなるなかで、タブレットが家庭学習の推進につながると考えています。

教育委員 先日、子どもがタブレットを持ち帰り、親にプレゼンするという宿題をしていました。ネットにつながっていなくてもできる宿題としてタブレットを活用していました。

町長 I C Tを活用した教育について手探り状態なのを感じました。町でも教員の支援に協力します。研修には内田洋行などを活用してください。経費は町でも対応していきます。

町長 教員のスキルアップについて、県の支援はありますか。また、好事例が教員間で共有できていますか。

教育長 町内はもちろん、県の会議等でもメリットだけでなくデメリットも発信して共有しています。

町長 研究会はありますか。

指導主事 教員同士が情報共有できるようなチームの立ち上げを考えています。I C Tの得意な教員が集まった研究会でスキルアップし、情報共有、各校で中心となって活動してもらい、全体のスキルアップにつなげられたらよいと考えています。

教育長 校内で教員が集まってI C Tについて話をする機会が増えていると聞いており、雰囲気よく進められているようです。

町長 教員からこういうものがあればよいという具体的な提案が出てくるようになればいいですね。

教育委員 効果測定ですが、アンケートの効果をどう判定するかという話が校内で出ていますか。

教育長 アンケートは重要だと考えており、今後は指標の見直しが必要だと思います。今は使い方などが中心ですが、今後は指標の内容が教育目標の達成などに変わ

ってくると思います。

町長

身近なところに聞ける人がいるというのは重要ですね。学校の中でも気軽に聞ける環境があればいいと思います。教員のスキル向上が児童生徒の学力向上につながると思います。ICT教育が単に子どもの学力を向上のためだけでなく、教員が子どもと接する時間を増やすためのものであってほしいと思います。

指導主事

昨年度、八橋小学校で善積さんに働き方改革に関する指導を受けました。一番は意識改革をすることでした。決められた時間で仕事をする、今日は何時に帰るかを決めて、それに合わせて仕事をするようにしました。意識改革だけではなく、仕事や行事の見直しなどもしました。室内の導線の見直しや、整理整頓などわずかなことの積み重ねでも時間短縮につながりました。自分で働き方を変えられることを教わりました。

会議が長時間なのを定例のもの30分、長いものは1時間を限度にするようにしています。事前配布した資料は読み上げはしないなど、効率的に物事を進めることを習慣化することで変わってきます。人員配置も必要です。昨年度の取り組みは他校にも情報提供し、成果を広げていきます。各校での実践内容をフィードバックし、全校で共有するようにしています。

町長

八橋小学校の成果をもう少し詳しく教えてください。

指導主事

八橋小学校では意識改革が一番大きかったです。子どものことを細かいところまで考えるとたくさんの時間が必要でしたが、時間のかけ方を考えることができるようになりました。職員室に希望退庁時間を記入し、それに向けて仕事をするように心掛けました。業務支援アシスタントの導入効果も大きかったです。教員が行っていた検温や消毒などをしてもらうことで教員の負担を軽減することができました。

町長

学校や各課の状況を教えてください。

教育総務課長

他校へは校長会を通じて情報提供済みです。各校の安全衛生委員会で成果を確認しながら進めているところです。

働き方改革は学校現場だけの話ではありません。自分の意識を変えていくことが必要で、体験することで意識が変わっていきます。体験者が各校で話を広め

ていくことが重要だと思います。

社会教育課長 子育てや介護などライフスタイルは人それぞれで大変。職場内で業務の進行状況を把握して、悩んでいれば声掛けをするなど、気軽に声を掛け合うことのできる職場にするように心がけています。また、必要であれば時間外勤務手当をきちんと支給するようにしています。

人権・同和教育課長 少人数の課ですが早く帰っています。早く帰ることに気が引ける部分もありますが、早めに帰るように心掛けています。

町長 働くということでは教育現場も行政現場でも同じです。かけた時間で効果が上がると考えている人もいるかもしれませんが、整理整頓や業務の見直しなど改善できることはたくさんあると思います。

教育委員 役場は遅くまで仕事をしている印象があります。仕事量と働く人数は合っているのか、適正かどうか点検が必要なのではないでしょうか。

町長 時間の使い方について職場内で話をしながら、自分についても考えることが大切です。意識改革は大変ですが、必要なことです。仕事ができる人のやり方を共有するなど、よい働き方についても情報共有をすることで、全体のスキルが上がり、働き方改革につながるのではないのでしょうか。

教育長 教育の目的は子どもを育てることです。子どものために全部するのがよいものではありません。手を離してどうなるかを見ていく、手を掛けない過ぎないことで子どもたちが育つこともあると思います。子どもが自分で考えて、育っていく。子どもも学校も自立して考えていくことが働き方改革につながり、子どもの成長につながると思います。子どもの力は落とさず、子どもが育っていく方法を考えていきます。

町長 今後も機会があるごとに教育委員のみなさんと話ができればと思います。本日はありがとうございました。

教育総務課長 本日の総合教育会議は、以上で閉会とします。